

日高町教育奨励表彰

平成26年度日高町教育奨励表彰式が、3月4日、門別総合町民センターで行われました。

本年度は、高山妃香さん(門別小6年)と永田翔希さん(日高中3年)が「スポーツ奨励表彰」を受賞されました。

受賞者を代表して、永田翔希さんが、「今後も今日の感激を忘れることなく努力を続けていきます。」と挨拶しました。



○ スポーツ奨励表彰 高山 妃香 様

～ 平成26年度 東アジアホープス日本代表選考予選会出場 ～

平成26年度全道ホープス卓球大会において北海道小学生代表に選出され、東京都で開催された「平成26年度東アジアホープス日本代表選考予選会」に出場し、北海道選抜選手として活躍されました。

また、小学校5年生時には「北海道小学生卓球大会」において見事、準優勝。小学校4年生及び6年生時には「北海道卓球選手権大会」において見事全国大会出場を果たし活躍されています。

学校でも明るく、おごらず、黙々と練習に打ち込む姿は、スポーツに励む多くの児童生徒の克己心を喚起し、関係者からも今後の更なる活躍を期待されています。

○ スポーツ奨励表彰 永田 翔希 様

～ 第52回 全国中学校スキー大会出場 ～

「平成26年度全道中学校スキー大会スラローム競技」において見事6位入賞を果たし、2年連続となる全国大会出場への切符を手中に収め、青森県で開催された「第52回全国中学校スキー大会」では、全国の強豪がひしめく中で難しいコースを果敢に攻め、優秀な成績を収めています。

これは、本人の恵まれた運動能力はもとより、日頃の真摯な練習への取組みと謙虚な競技態度の賜であり、スポーツに励む多くの児童生徒の克己心を喚起し、関係者からも今後の更なる活躍が期待されています。

日高高校新校舎完成



日高高等学校の校舎新築工事が終了し、新校舎が平成27年1月に完成しました。現校舎の隣接地に建設された新校舎は、鉄骨造平屋建で床面積 872.20平方メートル。総事業費 4億4352千円。

校舎全体のイメージは、大地と日高の山々を抽象化した直線と三角形で表現。隣接する町民センターの正面とのバランスを考慮した設計。内部は木調にこだわり、ぬくもりのある明るい雰囲気、正面はガラス張りで採光に配慮したつくりとなっています。

日高町民センターと日高総合体育館へ渡り廊下で接続しており、町民センターのパソコン室や音楽室を一般市民と共用。



(左写真) 日高高校 現校舎
昭和33年12月建設
木造平屋建 850.6㎡

『デザイン・コンセプト』

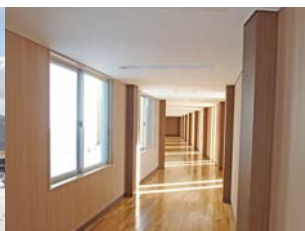
- ① 既存施設と調和しながら存在感のある校舎づくり
- ② 環境にやさしく省エネルギーである校舎づくり
- ③ 自然環境と共生する校舎づくり
- ④ 鉄骨造でありながら木造の校舎のような温もりを感じる校舎づくり
- ⑤ 既存木造校舎の記憶が感じ得るような校舎づくり



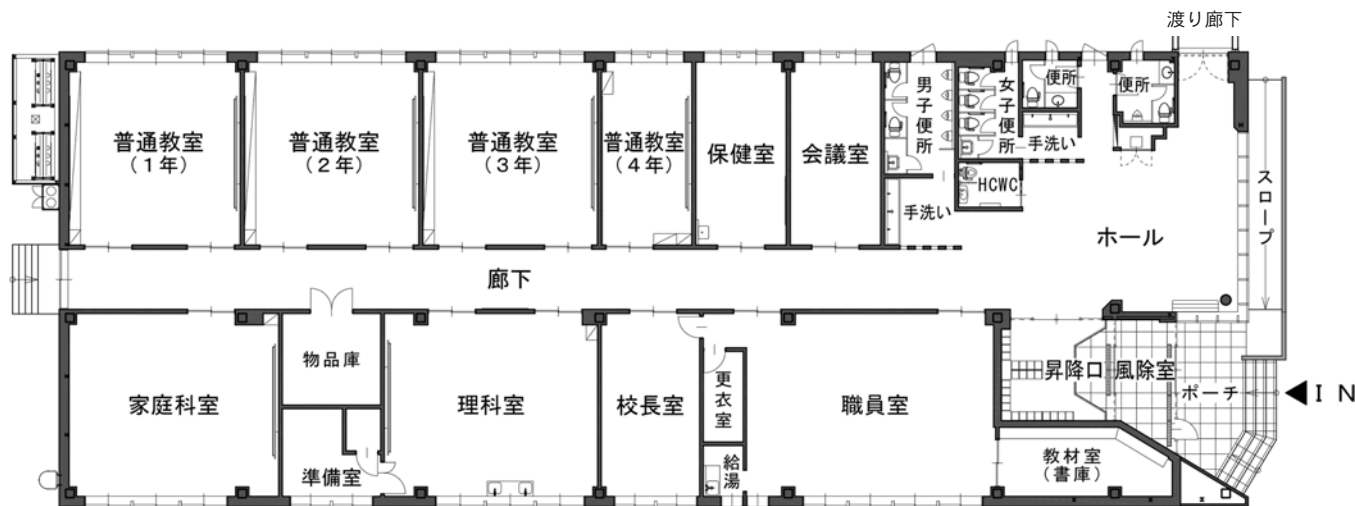
内部仕上げは、各所に温もりのある天然木と、暖かみのある色彩を基本とし、床、壁、天井の各部分と全体をバランスよく構成したデザインとしました。



渡り廊下は、校舎と既存体育館を接続する機能を持つ中間的な建物であり、各々の建物に違和感のない銀色を基調としました。渡り廊下が長いのでリズムカルに縦長窓を配置すると同時に、全体が軽く感じとれるよう基礎を一本足とし宙に浮いているようなデザインとしました。



ホールを広めに設定したことにより小規模集会や各種イベントの開催等に有効活用するほか、学年の枠を超えたつながりの育成のための交流広場となります。



外壁は、大地に根ざす安定感、重量感のある黒色を基調とし、単一化をさけるため、部分的に色と折の異なるガルバリウム鋼板を使用し、デザイン性を高めています。



省エネ対策として全ての照明をLED化。暖房はFF式真空パネル暖房機を設置。耐久年数も25年程度と長く維持管理も容易であり、燃料消費効率も高いものです。



隣接している町民センター正面とのバランスを考慮しています。南西向きの校舎正面はガラス張りで、生徒が登校する夕方に校舎全体に日差しが差し込む。四季の空、雲、太陽、風を室内に映し込み、自然環境を感じ自然環境と共生するデザインとしました。

